

令和5年度 北海道小学校長会地区活性化支援事業【実践事例レポート】

- 1 報 告 地 区：函館地区
- 2 事例報告学校名：函館市立えさん小学校
- 3 報告者職・氏名：校長 長 浦 紀 華
- 4 キーワード：体力向上の取組、幼小中連携

1 はじめに

函館市東部の恵山地区に位置する本校は、平成16年4月に旧恵山町の四つの小学校が統合して開校した。開校当初は190名在籍していた児童が、少子化や過疎化が進み現在では40名と激減し、一部の学年が複式学級となり、特別支援学級を含めて全6学級で構成している。

児童の大部分がスクールバスで登下校するとともに、校区が広いことから住宅が点在しており、下校後に友達と遊ぶ際もオンラインゲームが主流となるなど、運動不足が課題となっていることから、本校では運動習慣形成に向けた取組に力を入れている。

また、恵山地区には、幼児教育施設、小学校、中学校が各1園・校しかないことから、恵山地区の目指す子ども像である「恵山で育ち恵山とともに輝く子ども」の育成に向け、様々な機関と連携した取組を行っている。

2 特色ある教育活動

(1) 大学や病院と連携した姿勢指導による体力・運動能力向上の取組

本校では、目標に向かった体力づくりを進めるに当たり、①新体力テストの活用による自己の体力の現状を踏まえた体力向上の目標設定の推進、②大学との共同研究による定期的な姿勢解析、③縄跳びやマラソン、「えさん小体操」による運動習慣の定着の3点を学校経営グランドデザインに位置付けている。

具体的には、年2回、全学年で新体力テスト全種目を実施し、児童一人一人に目標をもたせるとともに、体育科の授業改善、中休みの縄跳びやマラソン、帰りの会後の「えさん小体操」、日常的な姿勢指導に取り組み、その成果を検証している。

特に、正しい姿勢保持ができない児童が多い状況が見られたことから、運動生理学を専門とする大学教授と病院でリハビリテーションを担当する理学療法士の協力を得て、児童一人一人の姿勢解析をし、その結果を踏まえ、どの児童にも必要な運動で構成したオリジナルの「えさん小体操」を考案し、毎日、取り組ませている。取組の検証に当たっては、年4回姿勢解析をするとともに、解析結果を踏まえ、一人一人に必要な追加の体操を助言したり、「えさん小体操」の仕方について確認したりする理学療法士による特別授業を行っている。

「えさん小体操」を始めて2か月で、体操実施前に骨盤が後傾だった児童のほぼ全員が、骨盤が前傾しており改善の傾向が見られた。

また、7月と10月に実施した2回の新体力テストの結果を比較すると、反復横跳びと立ち幅跳び以外の全ての種目で半数以上の児童が記録を伸ばしていた。特に、7月の記録が芳しくない児童については、反復横跳びと立ち幅跳び以外の全ての種目において、ほぼ全員が記録を伸ばしており、成果を実感しているところである。

なお、本校の姿勢指導や体力・運動能力向上に係る取組については、家庭や地域と一体となって進める必要があることから、コミュニティ・スクールの活動として「健康フォーラム」を開催し、地域全体に周知している。



(2) 幼小中連携の充実に向けた合同教員研修の実施

本校では以前から、恵山中学校との小中連携を進めていたが、地域に幼児教育施設、小・中学校が各1園・校しかないことから、子どもの人間関係が固定化している状況や地域の人材育成を鑑み、幼小中が連携・一貫した教育活動を充実することの必要性を踏まえ、昨年度から合同の教員研修を実施している。

とりわけ、幼小連携にあっては、小学校教員の幼児教育への理解が乏しい状況が課題であり、幼小接続に係る取組も形骸化されていたことから、小学校教員の正しい幼児教育理解が必要と考え、昨年度から、地域の幼児教育施設である認定こども園函館市つつじ保育園との合同研修を実施している。

幼児教育の基本的な理解に係る座学の研修や、長期休業中に小学校教員が幼児教育施設に出向き1～2日間、保育補助を体験する実技研修を年2回行っている。

また、従前より取り組んでいる恵山中学校との合同研修に位置付けた本校の公開研究会に、昨年度から認定こども園函館市つつじ保育園の保育教諭にも参加していただいている。研究協議においては小中部会と幼小部会の二つの部会を設け、幼小部会では幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を視点に児童の育ちと担任の関わり方や教育環境の工夫について協議した。

さらに、認定こども園函館市つつじ保育園の卒園児が本校と椴法華小学校に進学することから、今年度、「恵山・椴法華地区幼小連携推進協議会」を立ち上げ、幼小接続期の教育の充実を図っている。



長期休業期間における保育補助体験

<幼小中連携教員研修の取組>。

1	5月	令和5年度第1回恵山・椴法華地区幼小連携推進協議会
2	7月	第1回恵山・椴法華地区幼小合同研修会
3	7～8月	小学校教員による保育補助体験（1人2日間）
4	11月	恵山地区幼小中合同研修会～えさん小学校公開研究会～
5	11月	恵山地区小中合同研修会～恵山中学校公開研究会～
6	12～1月	小学校教員による保育補助体験（1人2日間）
7	1月	恵山地区生徒指導研修会（幼小中合同研修）
8	2月	第2回恵山・椴法華地区幼小合同研修会
9	3月	令和5年度第2回恵山・椴法華地区幼小連携推進協議会

※本校の授業参観日には、
幼児教育施設職員にも
授業を公開している。

3 おわりに

今年度、本校では開校以来継続していた学校教育目標を、現行の学習指導要領で示す「育成すべき資質・能力の三つの柱」と正対するよう「正しく知る子ども 深く考える子ども より良く行動する子ども」の3つに新しく設定をした。また、重点教育目標を「自分の考えをもって、主体的に行動できる子ども～持続可能な「恵山地区」の創り手として～」とし、恵山地区の子どもとして、地域のつながりの中で学ぶことで、「自分の力で人生や社会をよりよくできる」という実感をもたせる教育活動に力を入れている。

こうしたことから、今回は紙面の都合で取り上げなかったが、コミュニティ・スクールの活動として、地域素材を生かした体験活動を取り入れた行事を行ったり、児童が学んだことを地域に還元する形で健康フォーラムや防災フォーラムを開催したりするなどの取組も行っている。

今後も、本校だけではなく、恵山地区の異校種との連携・一貫した教育を更に充実し、持続可能な「恵山地区」の創り手となる人材の育成に一層力を入れていきたい。